



広島土砂災害の経験を振り返る西部さん＝津市の芸濃総合文化センターで

災害時の支援 女性の役割は

津で講演会

土砂災害への心構えをテーマにした講演会が、津市の芸濃総合文化センターであり、二〇一四年八月の広島土砂災害の時に消防隊員として活動した西部美千代さん(六二)＝広島市＝は「女性は災害時に大きな力を発揮する」と訴えた。

広島市安佐南消防団女性消防隊の隊長を務めている西部さんは、土砂災害発生翌日から二十二日間、二十一人の女性隊員と協力して市内の避難所で被災者

の生活支援に携わった。

講演会では地元住民約八十人を前に「その時女性消防隊にできること：」と題して当時の体験を語った。避難所になった公民館の清掃に取り組んだ時の様子を写真とともに伝え「被災地支援というと男性のイメージが強いが、女性ならではの心遣いで被災者の役に立っている」と語った。

講演会は、県建設技術センター(津市)が県民の防災意識の向上を目的に、一二年度から県内各地で毎年開いている。

(大島宏一郎)